

充実した環境のなかで

皮膚・排泄ケア認定看護師になりたい。

改めて、そう思えた研修期間でした。



京都橘大学の魅力は、「充実した環境で学べる」という点です。

その中でも一番の魅力は、様々な場で活躍されている講師の方から講義や実習を学べる点だと思います。最先端の知識・技術に加え、講師の方々の経験を踏まえた講義は、教科書だけでは絶対に学ぶことのできない貴重なものでした。実習では、実習施設が関西の総合病院ということもあり、症例が多く、経験豊富な指導者の方から実際のケアや関わりについて学ぶことができました。認定看護師教育課程の内容は、現場に戻った今でも振り返って参考にさせてもらっており、確実に私の基礎となって身につけています。

そして、「看護学部がある大学」という恵まれた環境も魅力の一つです。医学関連図書が豊富な図書館で学習したり、看護学部の実習室で実習したり、栄養が考えられた食堂での食事など、恵まれた環境設備の中で集中して学ぶことができました。

そのような恵まれた環境の中であっても、認定看護師教育課程では多くの知識・技術を学ぶため、決して楽しいことばかりではありません。レポート提出やテスト、実習の記録に追われることもあり、つらい時期もありました。しかし、そんなときに支えてくれたのは、同じ目標を持った仲間でした。テストの後にみんなで打ち上げをしたり、休みの日においしいものを一緒に食べに行ったり、互いに励まし合い、支え合う仲間がいたからこそ頑張れたと思います。年齢も経験年数も異なる全国各地の仲間は、卒業した今でもかけがえのない存在です。

現在は、皮膚・排泄ケア認定看護師として、褥瘡の専従看護師という立場で勤務しています。責任のある立場ですが、日々やりがいを感じながら勤務しています。

研修生活を振り返ってみて、京都橘大学で認定看護師教育課程を学ぶことができ本当に良かったと思います。



(第9期生・2015年度修了)